

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 3

団 体 名	たるBOOK		
事 業 名	「いつでも・どこでも・だれもが本好き小樽の町」宣言～2016		
実 施 期 間	平成28年6月～平成29年3月		
事業の目的及び期待する効果	前年度同様、「まちづくりはひとづくり」という理念のもと、「読書離れ・活字離れ」が深刻な時代に、大人も子どもも市民の誰もが読書習慣を身に付けることを目的とする。子どもは学力向上・豊かな心の育成、大人は生涯学習に効果が期待できる。また、「本との出会い」を作り、「本」をツールに市内外から人が集まることで、にぎわいのある町となることを期待する		
実 施 額	事業費	223,328円	助成額 168,428円
事 業 内 容	<p style="text-align: right;">※★印は助成対象事業</p> <p>本会の目的に賛同してくれる会員を広く募集し、ストーリーテリング講習会、ブックトーク講習会、絵本読み聞かせ講習会、親子向けワークショップ(絵本とコラボ)などの研修を行うと共に、「読み聞かせ」「読書会」「ビブリオ・バトル」を開催し、「本との出会い」の場を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育成事業(講習会) <ul style="list-style-type: none"> ① ストーリーテリング講習会 (10/15) ② ブックトーク講習会 (11/12) ③ 絵本読み聞かせ講習会 (9/3, 12/9) ・ 親子向けワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ① 夏休み親子向けワークショップ (8/5) ～ペットボトルでピザづくりとアルミ缶でアイスを作ろう！ ② 冬の親子向けワークショップ (1/28) ～絵本とクッキー作りを楽しもう！～ ・ 子どもの読み聞かせ、おはなしの会 <ul style="list-style-type: none"> ① 塩谷児童センターでの読み聞かせ 6/18, 7/16, 8/20, 9/24, 10/1, 11/19, 1/21, 2/18, 3/11 ※12月は悪天候のため、中止 ・ 大人の読み聞かせなど <ul style="list-style-type: none"> ①大人の読み聞かせ (6/12) ② 大人の読み聞かせ in 小樽雪あかりの路(2月) ③ ビブリオバトル(7/1) ④ 老人施設での読み聞かせ (6/11, 7/16, 8/20, 9/24, 10/1, 11/19, 1/14, 2/25, 3/11) ※12月は悪天候のため、中止 		

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

◎事業の日程について

2 / 3

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
(10/15)	ストーリーテリング講習会	15名	11名
(11/12)	ブックトーク講習会	15名	13名
(9/2, 12/9)	絵本読み聞かせ講習会	30名	60名
(8/5)	夏休み子ども向けワークショップ ～ペットボトルでピザ作り、アル ミ缶でアイスを作ろう～	15組	7組
(1/28)	冬の親子向けワークショップ ～絵本とクッキーづくりを楽しも う！～	10組	1名 (12月末時点)
6/18, 7/2, 8/20, 9/3, 10/3, 11/12 1/21, 2/18, 3/11	塩谷児童センターでの月に一度 の読み聞かせ	80名	52名 (12月末時点)
6/12, 6/11, 7/16, 8/20, 9/24, 10/1, 11/19 1/14, 2/25, 3/11	大人の読み聞かせ、大人の読み聞 かせ in 小樽雪あかりの路、お 年寄りのための読み聞かせ	160名	128名 (12月末時点)
7/1	ビブリオバトル	20名	8名

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

今年度は、「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」の他に他の団体からの依頼やコラボがあり、充実していた。これも、3年間助成金をいただきながら、活動を継続してこれたからであると思う。大変感謝している。たるBOOKの活動も大事にしながら、他の団体と連携していくことが、「まちづくりはひとづくり」ということにつながっていると思う。「本との出会い」は、たくさん作ってきたが、まだまだ賑わいがあるとは言えずで、今後の課題になると思う。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

参加した方々のアンケート結果からはどの企画も好評で、「継続してほしい」という意見が圧倒的に多かった。自分の知らない本を知ることができて、とても喜んでいた。「本」の世界、色々な手法を学ぶ機会を今後も作ってほしい、また、交流する機会を作ってほしいという意見・感想がたくさんあった。

3. 今後の事業について

今後も「読書離れ・活字離れ」が深刻な時代に、大人も子どもも市民の誰もが読書習慣を身に付けることを目的とし、そのために「本との出会い」を作り、「本」をツールに市内外から人が集まるような企画をたるBOOKはもちろん他の団体と連携して行う。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等